

じょうやじょう

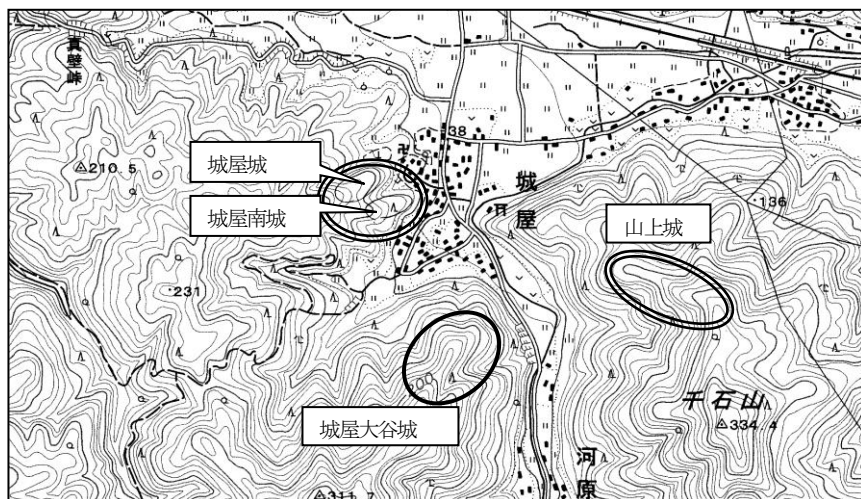
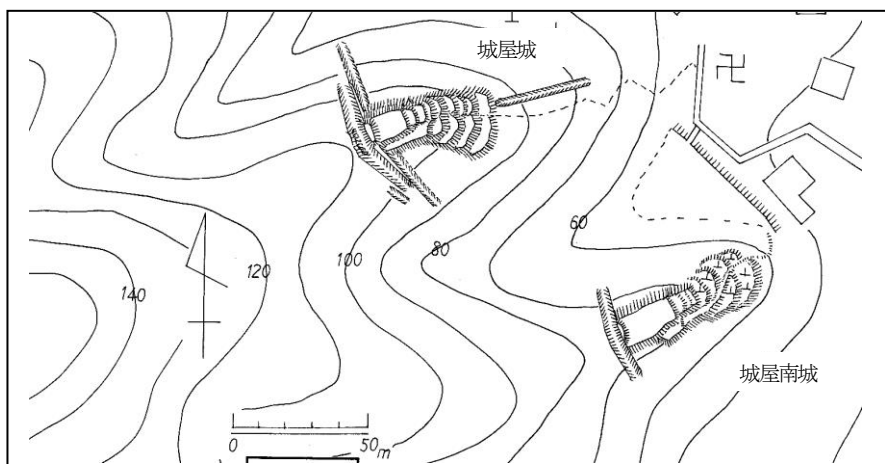
## No.72 城屋城

舞鶴市字城屋小字大谷

- ・遺構---曲輪、堀切、堅堀、土塁
- ・占地---尾根・標高---100m ・比高---65m
- ・遺跡地図番号---208

この城は城屋集落永福寺の裏山にある。尾根上に長さ60m程の城域を確保し、階段状に曲輪を造成している。曲輪の西側は堀切で遮断し、東側は堅堀が一本構築してある。これほどの傾斜地に城館を構築する例は珍しい。

城主について、「加佐郡誌」は、かつて佐武ヶ嶽の坂根修理亮の子孫が池内の今田から来て城を作っていたが、まもなく帰農して坂根九郎左衛門及び片倉吉平などの諸氏に分かれたとしている。(今回の調査により、当城と城屋南城は遺跡地図番号208の南南東250mにあることが判明した。)



じょうやみなみじょう

## No.73 城屋南城

舞鶴市字城屋小字大谷

- ・遺構---曲輪、堀切、土塁
- ・占地---尾根・標高---70m ・比高---35m
- ・遺跡地図番号---208

この城は城屋城の南東100mに位置する。城屋城に比べて城地の傾斜は緩やかである。

主郭は東西30m南北15m程で、堀切で尾根を遮断している。下方に続く四段の地形もかつては曲輪であった可能性が高いが、現在は墓地となっている。

城屋城との関係は不明である。城主に関する記録や伝承はない。